

★ 開催日時、開催場所

平成30年9月13日（木）豊田産業文化センター内 とよた男女共同参画センターにおいて、一般学科教員 山口比砂による公開講座「新聞小説家・夏目漱石の誕生」が開催されました。

★ 講座全体の説明

一般の方々を対象として開催された本講座では、留学から帰国した後、どのような経緯で漱石が朝日新聞入社を決意したのか、当時の時代背景や漱石の創作活動などを視野に入れ多角的に検証をしました。今回は、豊田市在住の方だけでなく、みよし市、名古屋市からの申し込みもあり、19名の受講生の方々が、漱石文学の世界を満喫されました。毎年続けて受講して下さっている方もあり、漱石文学の軌跡を辿る有意義なひと時となりました。

★ 講座内容の説明

講座の前半は、小説「坊っちゃん」の書かれた背景と、同時期に発表された島崎藤村の小説『破戒』が漱石に与えた影響について検証しました。権威に対する漱石の批判精神や、社会と正面から向き合う姿勢を、漱石の書簡などから読み解きました。

講座の後半は、漱石が京都帝国大学や東京帝国大学教授就任への誘いをなぜ断ったのか、また、大学から新聞社に活動拠点を移す際、漱石が何を望み、何を怖れていたのか、検証しました。小説「野分」に書き込まれた価値観が、そのまま漱石の文芸への思いに繋がっていることを確認した後、入社交渉の経緯を辿り、自由な執筆環境を維持するために、周到な準備をして決断に至ったことを、漱石の書簡などから読み解きました。

時代背景や漱石の思いを知ることで、漱石の創作の意味をより深く感得することができ、今後の読書体験の広がりが期待される講座となりました。

★まとめ

受講生の方々は、時代背景や書簡などの資料を踏まえて創作活動を考察するという、単なる作品鑑賞とは異なるアプローチに、強い関心を示していらっしゃいました。今まで気付かなかった新たな読み方を発見していただく、有意義な公開講座となりました。



公開講座の受講風景



朝日新聞掲載の社告